

## 令和5年度第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会開催結果（概要版）

1 日 時： 令和5年8月23日（水） 17:00～18:30

2 開催形式： WEB 開催（事務局接続場所 部会議室）

3 出席委員： （◎：会長、○：副会長）

◎福島県立医科大学医学部小児科学講座 教授 細矢 光亮

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 講師/医局長 花見 由華

公益財団法人 星総合病院 病院長補佐/小児科部長 佐久間 弘子

日本赤十字社 福島赤十字病院 耳鼻咽喉科主任部長 多田 靖宏

公益社団法人 福島県歯科医師会 専務理事 五十嵐 稔

一般社団法人 福島県薬剤師会 会長 長谷川 祐一

公益財団法人 福島県看護協会 会長 佐藤 博子

公益社団法人 福島県栄養士会 理事 黒岩 敏

公益財団法人 福島県学校給食会 会長 佐藤 俊市郎

アレルギーっ子 交流会 もぐのび 代表 緑川 琴江

### 4 議事概要

#### (1) 関係機関における取組状況と課題

〈取組状況〉

- ・薬剤師会：アナフィラキシーなどの緊急情報を会員全員に発信
- ・看護協会：スキンケアアドバイスのツールの開発※し、両親学級や皮膚疾患認定看護師に配布。  
※看護協会としてではなく、委員個人の研究
- ・栄養士会：管理栄養士がいない施設への管理栄養士の派遣

〈課題〉

- ・栄養士会：真にアレルギーがあるか否かが不明な患者が多いため、入院時に簡易検査を実施するなどの取組が必要ではないか。栄養士のアレルギーの指導にばらつきがあるため、研修等を実施し統一の認識をもつ必要性がある。

#### (2) 市民向け普及啓発について

市民向け普及啓発のアクセス数が少ないことが課題であるため、動画の時間を短くするなどの提案がされた。また、動画の内容については下記の意見が出された。

〈動画内容〉

- ・防災とアレルギー
- ・入園・入学におけるアレルギー対応について
- ・スキンケアアドバイスのツールについて

#### (3) 専門職向け研修について

アレルギーは小児から成人まで対象者も疾患も異なり、それぞれの領域で対応できるアレルギーも異なるため、医師向け研修会は1回で全てを網羅するのは難しい。ま

た、薬剤師会や栄養士会なども専門職向け人材育成が課題であることから研修会の対象を明確にし今後体系的に考えていく必要がある。薬剤師や栄養士等と一緒に参加できるように既存の勉強会を活用していく連携の必要性が示された。

(4) アレルギー疾患実態調査について

実際に調査を実施することはかなりの手間や時間を要するため、既存のアレルギー関連の調査結果を調べ、新たな調査の必要性を検討する。

(5) 関係機関の連携強化等について

連携に関する取組や課題が下記のとおり寄せられた。

- ・健康教育課：学校で学校管理指導票等の提出等の理解と協力を求め対応しているが専門職の不足や代食や代替食等の提供が難しい。
- ・子育て支援課：妊娠期から子育ての相談では、市町村 59 市町村全てに設置されている子育て支援包括支援センターで幅広く受け入れ、窓口は整備されている。
- ・専門医：学校や自治体が受けている相談が医療機関に繋がっていない。学校や自治体が受けた相談を直接病院に紹介できる相談体制の構築が必要ではないか